

令和6年11月21日

太田市議会議長 高田 靖 様

議会運営委員会委員長 渡辺 謙一郎

議会運営委員会視察報告書

- 1 期 日 令和6年7月23日（火）から7月25日（木）までの3日間
- 2 視 察 地 静岡県静岡市、兵庫県宝塚市、岡山県倉敷市
- 3 視察事項
 - (1) 静岡県静岡市
 - ・議会基本条例に基づいた取り組みについて
 - (2) 兵庫県宝塚市
 - ・議会運営について
 - ・政策研究会での取り組みについて
 - (3) 岡山県倉敷市
 - ・議会BCP（業務継続計画）について
 - ・市議会体験ツアーについて
- 4 派遣委員 8名
渡辺 謙一郎 委員長 前田 純也 副委員長
八長 孝之 委員 高木 きよし 委員
大川 敬道 委員 松浦 武志 委員
町田 正行 委員 大川 陽一 委員
- 5 同 行 者 高橋 えみ 副議長
- 6 随 行 者 議会事務局 副局長 秋庭 尚広
課長補佐 青木 真彦
- 7 視察概要 別添のとおり

(1) 静岡県静岡市議会 視察概要

静岡市の概要 (令和6年3月31日現在)

- ・面積 1,411.93km² ・人口 675,610人
- ・市制施行 明治22年4月1日
- ・一般会計予算額 R6年度：3,534億6,000万円
R5年度：3,517億円
- ・議員定数 48人
- ・政務活動費（議員一人当たりの月額）250,000円

視察事項

- ・議会基本条例に基づいた取り組みについて

○目的

市民に開かれた議会の実現を図り、市民福祉の向上及び市の発展に寄与することを目的とした「静岡市議会基本条例」を議会運営に反映し、実効的な取り組みとして議会改革に繋げる方策について調査し、本市議会における市民に開かれた議会、市の発展に寄与する議会の実現に向けた参考とするべく、視察研修を行うものである。

○所感等

静岡市議会では、市議会に関する基本的事項を定め、市議会がその役割及び責務を果たすことにより、市民に開かれた市議会の実現を図り、もって市民福祉の向上及び市の発展に寄与することを目的に、平成24年に議員提案による政策条例「静岡市議会基本条例」を制定している。条例の制定後は、本条例に沿った活動が行われているか毎年度検証を行い、その内容を議会だよりや市議会ホームページを通じ市民に公開するなど、特徴的な取り組みを行っている。

静岡市議会基本条例にある「議会の役割を果たす」という目的に向け、議員発議による条例を数多く制定するなど、市政に市民の意見を反映させるべく、議会の活性化に努めており、本市においても議員発議による政策条例の制定に向け積極的に検討を進めていくべきと感じた。

議員発議による政策条例の制定にあたっては、発案者自らが議会の合意形成を図るための説明や調整を行うなど、ハードルが高い面もあるが、市民の代表である議会の意思を市政に反映させるためには、取り組んでいかなければならないテーマであると考える。

高校生との意見交換会については、毎年度複数の高校と意見交換会を実施しており、高校生が提案したテーマで意見交換を行うなど、主権者教育並びに議

会を身近に感じてもらう取り組みとして評価できる。本市でも太田リーダークラブとの意見交換や市立太田高校や関東学園大学の学生との意見交換会を実施しているが、対象の拡大や中学生との意見交換の実施も検討してみても良いのではないかと感じた。

静岡市議会では、議会基本条例第7条（広報の充実）に基づき、市議会に対する市民の関心を高めるための取り組みとして、市議会開催ポスターを作成し、市内各駅やバスターミナルへ掲示するほか、市内学校にもポスターを掲出し若年層に向けた市議会のアピールを強化している。さらに視認性を高める取り組みとして、議会開催ポスターを利用した音声付き動画の電子看板（デジタルサイネージ）の活用を始めるなど、議会活動に関する広報の充実に努めており、本市においても市議会の存在をアピールし、市民に関心を持っていただく手法として参考としていきたい。

(2) 兵庫県宝塚市議会 視察概要

宝塚市の概要 (令和6年4月1日現在)

- ・面積 101.89km² ・人口 221,240 人
- ・市制施行 昭和29年4月1日
- ・一般会計予算額 R6年度：905億5,000万円
R5年度：884億円
- ・議員定数 26人
- ・政務活動費（議員一人当たりの月額）76,000円

視察事項

- ・議会運営について
- ・政策研究会での取り組みについて

○目的

議会基本条例に沿った議会運営、議会の政策形成機能の充実を図る方策について調査し、本市議会における市民に開かれた議会、市の発展に寄与する議会の機能強化を図る上での参考とするべく、視察研修を行うものである。

○所感等

宝塚市議会では、平成23年4月に市民に開かれた議会の実現を図り、市議会の基本的な役割と責任や今後の議会の目指す方向を定めた「宝塚市議会基本条例」を定めた。施行後は、本条例に沿った議会運営、議会改革の推進が図られており、平成23年以降、議案の賛否の公表、議会報告会の開催、反問権の導入、自由討議の実施、政策研究会の設置、市民との意見交換会の実施など、様々な改革が進められている。

政策研究会では、市政に関する重要な政策及び課題に対して、議員が議会全体として共通認識を持って取り組む必要がある場合に設置され、政策的条例の制定や市長への政策提言に向けて協議・検討が進められている。政策が実現するまでの議会での合意形成の過程や組織体制について、市民の意思を市政に反映させる取り組みとして参考としていきたい。

宝塚市では、「歌劇のまち」を市のPRの中心に据えて施策を展開しており、議会もその動きに連動して活動している。本市においても「自動車のまち」をよりPRできるよう議会でも働きかけていけるよう積極的に取り組んでいく必要があると感じた。

反問権の導入については、本市では取り入れていないが、事前通告及び質問要旨のヒアリング等行っていることから、反問権の導入は必要ないとする。

宝塚市では、「議員と繋がる」というキャッチフレーズのもと、議会報告会と意見交換会を別々に開催しており、レストランやカフェを会場として利用するなど、気軽に参加したり、話しやすい雰囲気を作り出している。本市でも高校生との意見交換会を行っているが、議員という堅苦しいイメージを持たれていることもあり、意見を言いづらい雰囲気があったように感じた。宝塚市の取り組みを聞いて開催場所や環境の工夫も今後必要であると感じた。

(3) 岡山県倉敷市議会 視察概要

倉敷市の概要 (令和6年6月30日現在)

- ・面積 356.07km² ・人口 474,254 人
- ・市制施行 昭和3年4月1日
- ・一般会計予算額 R6年度：2,039億4,000万円
R5年度：2,022億3,400万円
- ・議員定数 43 人
- ・政務活動費（議員一人当たりの月額）150,000 円

視察事項

- ・議会 BCP（業務継続計画）について
- ・市議会体験ツアーについて

○目的

災害時における議会及び議員の行動指針を明確化することの必要性、有効性について、また市民に開かれた議会の実現を図るための取り組みについて調査し、本市議会における市民に寄り添い、開かれた議会を目指す上での参考とすべく、視察研修を行うものである。

○所感等

倉敷市議会では、平成30年の豪雨災害を受けて、議員としての災害時の行動指針の必要性から様々な検討が重ねられ、令和2年4月に「倉敷市議会 BCP」を策定している。倉敷市議会 BCP では、主に災害時の議会、議長及び議員の基本的役割から市議会災害対策会議の設置、災害発生時の具体的行動について規定されている。本市議会においても地震や風水害をはじめ、感染症など、いつ何が起きてもおかしくない状況の中で、我々議員が災害時にどのように行動し何をすべきか決めておくことは非常に大切なことであり、早急に取り組むべき課題であると感じた。

本市では、大規模災害対応指針に基づき災害時の行動が示されているが、災害時の議員としての基本的役割や具体的行動について、より明確にしておくためには改めて BCP を策定する必要がある。

災害発生後、議会としても情報収集はもちろんのこと、市災害対策本部との調整や国、県その他関係機関への要望、予算上の取り扱い、議会の機能回復に向けた調整など、様々な対応が求められることになり、これらを組織的に適切に対応していくためには、早急に BCP を策定していくことが求められる。また、災害時の行動を記したハンドブックを作成し、各議員に携帯して

もらい災害時適切な行動がとれるよう準備しておくことも必要ではないかと考える。

倉敷市議会では、議会広報及び市民に開かれた議会の実現を目的に市議会体験ツアーを実施してる。この体験ツアーは、倉敷市内の小学生を対象に毎年実施しており、議会の仕組みを学ぶ機会として、また正副議長や委員長との質問コーナーなど、議員との交流を図る機会として有効な取り組みであり、本市としても参考としていきたい。

市議会体験ツアーは、夏休み期間中に市内小学5・6年生とその家族を市議会に招き、議場の施設見学と正副議長との対話などの体験イベントを通じ、あらゆる世代に市議会への関心と理解を深めてもらい、市議会を身近に感じてもらうことを目的に実施している。本市では小学4年生が社会科見学として議場見学を行っているが、夏休みに親子でこのようなイベントに参加することでまた新たな体験となり、議会を身近に感じる良い機会になると考えられる。本市でも積極的に取り入れていきたい。